



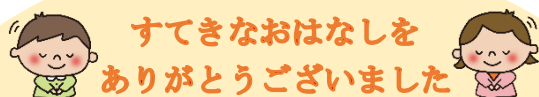
2月^{がつ}は1年^{ねん}で寒^{さむ}さがもっとも厳^{きび}しい月^{つき}です。しかし、2月4日^{にち}の「立春^{りっしゅん}」を迎^{むか}えると暦^{こよみ}の上^{うへ}では春^{はる}の季節^{きせつ}がやってきます。

どこが春^{はる}なの？と、思^{おも}うかもしれませんが、ほころび始^{はじ}める梅^{うめ}の花^{はな}や少^{すこ}しずつ伸^のびる日^ひの長^{なが}さに、春^{はる}の気配^{けはい}を感じ^{かん}じることができ^{でき}るかもしれませ^しん。春^{はる}はもうすぐそこまでやってきていま^{いま}す。

☆ 本^{ほん} de しりとり ~図書室の本^{ほん}を使^{つか}ってしりとりをしよう~ ☆

図書室^{としょしつ}にある本^{ほん}の題名^{だいめい}をつなげて、しりとりを完^{かん}成^{せい}させよう！しりとりで使^{つか}った本^{ほん}を1冊^{さつ}以上^{じょうか}借^かりると、田原中^{たわらちゅうがっこう}学校^{せいと}の生徒^{せいと}さんが作^{つく}ったオリジナル^{しだいしゅりよう}のしおりがもらえます。(なくなり次^{しだい}第^{だい}終^{しゅう}了^{りよう})

今年^{ことし}のしおりは裏面^{うらめん}にも注^{ちゅう}目^{もく}！田原地^{たわらち}域^{いき}学^{がっこう}校^{えん}園^{えん}の図^{としょしつ}書^{しつ}室^{もく}で目^{もく}標^{ひょう}にしている利^り用^{りよう}ル^るー^るル^るやマ^まナ^なーが書^かかれていま^{いま}す。参^{さん}加^か方^{ほう}法^{ぽう}はと^{としょしつ}図^{しつ}書^{しつ}室^{もく}で確^{かく}認^{にん}してくだ^{くだ}さい。



読^よみ聞^きかせボランティアの方^{かた}々^{たち}には、5月^{ごがつ}から1月^{いちがつ}まで全^{ぜん}学^{がく}年^{ねん}でのべ90作^{さく}近^{ちか}くのお話^{はなし}を読^よんでいただきま^ました。こ^これだけのお話^{はなし}にふれることができたのは、本^{ほん}当^{とう}にすばらしいこと^{こと}です。今^{こん}年^{ねん}度^どは2月^{にがつ}18日^{にち}が最^{さい}後^ごの読^よみ聞^きかせです。お世^せ話^わにな^なった感^{かん}謝^{しゃ}の気^き持^{もち}ちを胸^{むね}に、お話^{はなし}の時^じ間^{かん}を楽^{たの}しみま^ましょう。



おしらせ

6年^{ねん}生^{せい}への本^{ほん}の貸^かしだしは、2月^{にがつ}27日^{にち}(金^{きん})ま^までで終^{しゅう}了^{りよう}としま^ます。借^かりた本^{ほん}は、3月^{さんがつ}6日^{にち}(金^{きん})ま^までに忘^{わす}れず^ずに返^{かえ}すようにしてくだ^{くだ}さい。

よろしくお願^{ねが}いしま^ます。

1~5年^{ねん}生^{せい}の3月^{さんがつ}の貸^かしだしについ^{つい}ては、3月^{さんがつ}号^{ごう}のくうちゃん通^{つう}信^{しん}でお知^しらせしま^ます。



図^{としょしつ}書^{しつ}室^{もく}を使^{つか}うときは、引^ひき続^{つづ}き感^{かん}染^{せん}症^{しょう}の予^よ防^{ぼう}対^{たい}策^{さく}をお願^{ねが}いしま^ます。



マスク



手洗い



うがい

2月3日は...



節分の日

【節分】は、春が来る季節の変わり目に豆まきをして災いを払う行事です。さて、みなさんは正しい節分の豆のまき方を知っていますか？

地域によって違いますが、一般的には家の窓を開けて「鬼は外！」と2回豆をまき、鬼が戻らないようすぐに窓をしめてから、「福は内！」と部屋の中に2回まきます。胸のあたりでマスを持ち、そこからまくような感じで下手投げをすると、心の中の鬼も追いはらうことができると言われています。



今月のおすすめの本

節分にピッタリ！鬼が活躍するお話を紹介します。



『すみ鬼にげた』

岩城 範枝:作
福音館書店

913

イ



『おにたのぼうし』

あまん きみこ:作
ポプラ社



『オニのサラリーマン』

富安 陽子:作
福音館書店



奈良の唐招提寺を守る四人の“すみ鬼”のうち、一人の顔だけが違っているのはなぜか？今から300年前の元禄時代の物語。

節分の夜。どの家からも豆をまく音がして、鬼の子“おにた”は行くところがありません。ようやく静かな家を見つめますが、その家には・・・

赤オニのオニガワラ・ケンは今地獄カンパニーの平社員。今日もスーツに着替え、満員バスに揺られて地獄まで出勤します。

読書のバリアフリー



【くうちん通信1月号】でもお伝えしましたが、図書室では、現在、バリアフリー図書の特集を行っています。【公益財団法人 文字・活字文化推進機構】からお借りした点字図書や録音図書、LLブック（やさしく読みやすい本）などを、実際に読んで・聞いて・触って体験することができます。



点字で書かれた絵本や図鑑に触れたり、点字器を使って点字を書いてみたりすることができます

音声と文字や画像が同時に表示されるデジタル図書を体験中！



福祉についての調べ学習でも活用しています。



【文字・活字文化推進機構】が作成した小冊子『バリアフリー図書の森へようこそ！』を、下記のQRコードで読むことができます。バリアフリー図書のことがとても分かりやすく解説されているので、ぜひ、読んでみてください。



お知らせ

2月の火・木曜日の昼休みに、図書委員が図書室で読み聞かせを行います。

実施日は給食の時間に放送でお知らせするので、楽しみにしてください。